

関東大震災ではどんな被害が起こり、人々は何を残そうとしたのか？

\* 関東大震災

関東大震災：1923年（ 月 日）（現在の防災の日）12時ごろに発生。震源は相模湾沖  
関東大震災首都東京を中心に死者・行方不明者は約10万5千人で、我が国の自然災害史上最悪。  
来年2023年は、関東大震災からちょうど100年を迎える。  
大正時代の神奈川に生きた人々が、どのような状況に合い、今に何を残そうとしたのか考えよう。

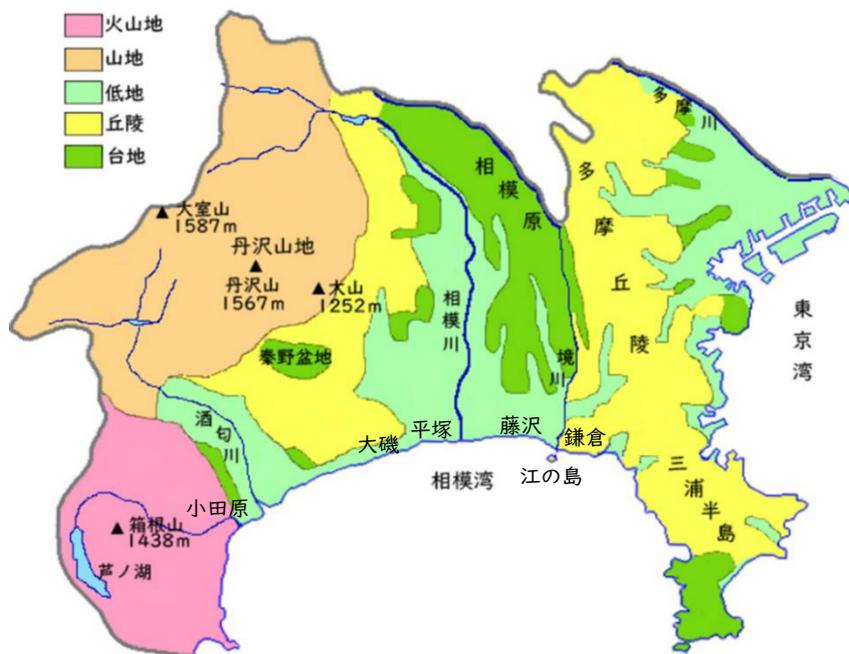
予想 関東大震災では、私たちの住む地域ではどんな災害や被害（人災も含む）があったらろう？

災害伝承碑を調べよう「国土交通省国土地理院 災害伝承碑」

Q 災害伝承碑とは？

災害伝承碑の  
地図記号

ワーク1 「国土地理院MAP」から神奈川県にある「災害伝承碑」を下のマップにすべてマークしよう



ワーク2 地図上の余白に被害状況を書き加えよう！分からない単語や地名・単位は調べてOK

1923年『大磯震災日誌（警察日誌）』『地学雑誌』の資料から神奈川県の被害状況から読み解こう

① 『大磯震災日誌』…大磯警察署の署員が作成した文書

9月1日から各日でのどのような活動をしたのか項目別で書かれている。

（大磯）署の時計は午後零時十分、署長はその室に在りて昼食をとらんとし…各担当、事務を管掌したる刹那、にわか大震動起り、大音響と共に庁舎激動、備え付け物品転落し、壁は剥奪落下して、起立歩行困難。今や庁舎崩壊せんとす。署員は身をもって庁外に避難し、署長は署員の避難と激動の静まるを待って署外にでる。この激動三分以上。署外は全壊・半壊の家屋の算なく、天空朦朧暗陰として間断なく強烈の余震襲来し、妖音（のちに鉄道の脱線事故と分かる）いずれにか発し、道路、空地に避難せる人々は跪き、また伏して顔色蒼然、ただ救いを求むのみ。

時下町方面より海嘯来ると叫号避難し来る者あり。平塚方面に当たりて、一大音響とともに黒煙天に沖し、その付近に白煙の朦朧立ち

昇るあり。大火災各所に発生せるを思はしめ、日光は光を失い、展望自由ならず。 『大磯震災日誌』

② 『地学雑誌』…1879年創刊の地震専門家による近代地学の雑誌

専門家による関東大震災の様子が記載されている。

湘南地域の被害相州は一带に被害が著しいのですが、特に酒匂川および馬入川沿岸は著しいようです。これはいずれも地質の然らしむる処である事他他方と同様ですが、なお一考する必要があると思います。厚木、秦野、小田原の被害には火災を伴いましたが、焼け残りの処を見るとその被害は決して少なくありません。これに反して、二宮・大磯辺の被害は著しく弱く、これを平塚や国府津付近と比較して見てその差の大なるに驚きます。酒匂川沿岸は松田付近までも非常な被害です。 『地学雑誌』

海嘯はその襲来全般にわたらずして、豆相の地においては…

…葉山においては10尺あまり、逗子付近、鎌倉及び片瀬付近において25～26尺にして最もたかく、流失戸数は鎌倉730余戸、片瀬380余戸。片瀬の西方平塚、大磯より南方伊豆山にいたる間は、高さ10尺内外にしてほとんど被害なく… 『地学雑誌』

ワーク3 考えよう 伝承碑が設置される地域（場所）と、されない地域（場所）の違いは何だろう？

自分の意見

他の人の意見

Q 震災以降、どんなことが国内の課題として挙がってくるだろう？

回答欄